

目指す学校像	「進学実績の向上」を目指し、質の高い教科指導と学習意欲に応える授業を組織的に展開する。また、「報恩感謝」の具現化に向けた有意義な体験が展開されるよう、部活動・学校行事・社会奉仕活動等の環境整備を図り、次世代のリーダーに必要な人間性・人格の陶冶を目指す。	達成度 A ほぼ達成（8割以上） B 概ね達成（6割以上） C 変化の兆し（4割以上） D 不十分（4割未満）	学校関係者評価 出席者 学校関係者 3名 生徒 0名 事務局（教職員） 1名
重点目標	1. 学力向上のための指導の充実 2. 人間性の陶冶を目指す指導の充実 3. 保護者や地域に開かれた学校づくり		

学 校 自 己 評 価								学 校 関 係 者 評 価
年 度 目 標					年 度 評 価 (2月23日現在)			実 施 日 平成22年3月6日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	①個々人の努力と工夫により授業改善が行われているが、組織的な取り組みがまだ不十分である。 ②模試において、全国レベルで上位に位置する生徒をより一層増やしたい。 ③自分の理解力を客観的に把握している生徒が少なく、自ら弱点を補強しようとする努力に欠けている。	自立した学習者を育成する取り組み	①各教科で研究授業を実施し、かつ他教科の研究授業も参観することにより相互に評価をする。 ②定期試験の結果、模試成績等を分析し、面接を通して個々の生徒への具体的な働きかけを早い時機から行い、高い目標を持たせ、目標実現のために、意欲的に学習する態度を育成する。 ③校内模試等の見直しに取り組み、意欲的に家庭学習を進める。	①研究授業の反省・授業参観の感想にとどまらず、指導法の改善に生かせる話し合いが行われるか検証 ②難関大学の魅力や長所を理解し、自分の進路実現に向けて、意欲的に学習に取り組んでいるか検証 ③模試等を効果的に活用、家庭での学習時間が十分確保されているか検証	①教科主催・学校主催の研究授業を数多く実施したが、実施後の話し合いは十分とはいえない。 ②数回の模試を実施し、また、その分析会等を通じて生徒の学力を把握し、指導に反映させている。 ③家庭学習の時間は十分とはいえず、その大切さを指導する必要がある。	B	①充実した授業実践を目指し、組織的・計画的に授業改善に取り組むことができるよう教員研修の充実を図る。 ②進路実現に向け手厚い進路指導体制を構築し、組織的・有機的に継続、発展させる。オープンスクールへの参加を促す。 ③進路実現に向け継続した指導をおし自立した学習者の育成をめざす。	①数多くの研究授業、授業アンケートを実施したことは評価できる。さらに効果的に運用することを次年度の課題としたことは評価できる。 ②多様な生徒一人一人が自信を持ち、将来、社会の中核を担う良識溢れる人材となることができるよう引き続き指導にあたってほしい。 ③家庭学習の時間については家庭の問題であり、学校の責任では無いとのご意見をいただいた。
2	①一部ではあるが、規範意識が低い生徒がいるので、基本的な生活習慣の確立を促す必要がある。また、社会へ向けての自立心、集団の中での自律心を育成したい。 ②他の学校行事との関連に留意しつつ、より効果的な研修会や講演会などの企画運営が求められる。 ③部・同好会への加入率は比較的高いが、十分な活動時間確保が困難な状況にある。特に運動部の成績の更なる向上を期待したい。	生徒指導の充実	①登校時の指導、SH、授業等いろいろな機会を利用して、自己の責任や規則遵守の意義を理解させ、自分を律することの大切さを認識させる働きかけを行う。また、定期的な容儀検査と事後指導を実施する。 ②人権や心の教育に関する理解を深めるとともに、より有益な情報を収集し、実り多い研修会、講座、講演会等を企画する。 ③部・同好会において、短時間で効果のある集中した活動を行い、練習内容を工夫する。	①社会性が培われ、生徒一人ひとりが自主的な行動ができ、また、基本的な生活習慣が確立して校則を遵守しているか検証 ②人権・心の教育に関する理解促進と人権講話や生き方講演会などを計画的に行っているか検証 ③部・同好会への加入率を調査し、運動部の成績・実績を検証	①大きな問題はなく経過している。しかし、一部に頭髪、服装の乱れが見られる。また、遅刻者が全校で1日平均4～5名いる。生徒指導部を中心に毎朝指導しているが気持ち良い挨拶が出来る生徒が少ない。 ②今年度で退職する5人の先生に9・1月の集会に於いて話をいただいた。非常に有意義であった。 ③部・同好会への加入は約60%である。顧問は熱心に指導しているが成績はあまり芳しくない。	B	①登校時の指導、SH、授業等いろいろな機会を利用して、他人に迷惑をかけない思いやりのある心の大切さを認識させる働きかけを一層行う。また、ケイタイの使用の指導も引き続き実施する。 ②来年度退職する先生、外部から招いた講師に話をさせていただき、人権・心の教育をさらに推進する。 ③安全に留意しつつ、時間を効果的・効率的に利用できる生徒を育成し、よりレベルの高い両立を目指す。文化部をさらに充実させる。	①全教職員が一丸となり生徒の指導に全力で取り組んでいる姿勢は高く評価できる。引き続き家庭や地域との連携を深め、人間形成の視点に立ち指導にあたってほしい。挨拶は家庭環境も大きな比重を占めているとのご意見もいただいた。 ②経験が豊富であるいろいろな人の話を聞くことは意味のあることであり評価できる。人権・心の教育をさらに推進してほしい。 ③校務多忙な中でのクラブ活動の指導に感謝している。学業との両立を目指す中での指導はご苦労も多いものと思う。文化祭を盛り上げるためにも文化部の活性化を期待したい。
3	①ホームページの内容を充実させ、本校の教育活動を校外に発信している。 ②公開授業で授業を公開している。	開かれた学校づくりを一層推進する。	①ホームページの更新を行い、教育課程・部活動・進路の様子を校外へ発信する。 ②授業を積極的に公開し保護者等から信頼される学校を目指す。	①ホームページを定期的に更新し、本校の教育活動を公開しているか検証 ②公開授業等に対して、多くの参加があるか検証	ホームページを定期的に更新し、本校の教育活動を公開している。また、パソコン教室には多数の参加があり好評だった。	A	ホームページの管理、更新を一層工夫・充実させ、より開かれた学校づくりを推進し、引き続き、信頼に応える学校づくりに取り組む。	情報発信等により開かれた学校づくりを推進していることは高く評価できる。パソコン教室の実施も評価できる。この姿勢を維持・継続させていくことが大切である。

